

## アド・ミュージアム東京から



# 世界を幸せにする広告—GOOD Ideas for GOOD—

(平成28年5月17日～7月30日)

会場入口

社会課題に取り組む広告作品を紹介する企画展「世界を幸せにする広告—GOOD Ideas for GOOD—」が、好評のうちに終了しました。「for GOOD」—社会のために広告は何ができるのか？ 本展では、この問いへの一つの解を示す広告を世界中から集め、77点を展示しました。1)

広告の手法を用いて強く訴えかける作品を前に、思わず頬を緩めたり、涙する来館者も少なくありませんでした。予想をはるかに上回る来館者数があり、for GOODへの高い関心がうかがえました。



気軽に閲覧できるようにfor GOOD関連図書コーナーを設置



中央・右：会場風景

## トークイベント

私たちの周りにあるさまざまな社会課題。LGBT、医療、介護など、当事者にならないとわからない問題がたくさんあります。そんな問題をより身近に感じ、考えていただくために、展覧会と連動したトークイベントを3テーマ、計4回実施しました。



トークイベント風景

**第1回「スタートアップ for GOOD」**  
6月3日(金) 18:30～20:30

プレゼンター：薬師 実芳氏

特定非営利活動法人 ReBit  
代表理事

川添 高志氏

ケアプロ株式会社 代表取締役

永田 京子氏

NPO法人ちえぶら 代表理事

岩田 拓真氏

株式会社 a.school 代表取締役

総括：白土 謙二氏

思想家

司会：須田 和博氏

株式会社 博報堂

シニアクリエイティブディレクター

協力：

NPO法人 ETIC. / 株式会社 電通 / 株式会社 博報堂



**第2回「スタートアップ for GOOD」**  
7月8日(金) 18:30～20:30

プレゼンター：**堀江 敦子氏**  
スリール株式会社 代表取締役

**管 偉辰氏**  
株式会社リリムジカ 代表取締役、  
共同代表

**吉岡 マコ氏**  
NPO法人マドレポニータ 代表理事

**織田 友理子氏**  
NPO法人PADM 代表

総括：**白土 謙二氏**  
思想家

司会：**須田 和博氏**  
株式会社 博報堂  
シニアクリエイティブディレクター

協力：NPO法人ETIC。/ 株式会社 電通 /  
株式会社 博報堂



第1回、第2回トークイベント「スタートアップ for GOOD」では、社会課題に取り組んでいる4名の社会起業家をお招きし、活動内容をプレゼンしていただきました。そして、その活動にぴったりのキャッチコピーを電通、博報堂のコピーライターが大喜利形式で発表。見事なコピーのアイデアに、会場は大いに盛り上がりました。

**第3回「東北 for GOOD」**  
7月12日(火) 18:30～20:30

パネリスト：**山内 幸治氏**  
NPO法人ETIC 事業統括ディレクター

**並河 進氏**  
株式会社 電通  
クリエイティブディレクター

**鷹鷲 愛郎氏**  
株式会社 博報堂  
シニアクリエイティブディレクター

総括：**白土 謙二氏**  
思想家

司会：**須田 和博氏**  
株式会社 博報堂  
シニアクリエイティブディレクター

協力：NPO法人ETIC。/ 株式会社 電通 /  
株式会社 博報堂



第3回「東北 for GOOD」では、課題先進地域といわれる東北でそれぞれの活動を展開されているNPO法人ETIC、電通、博報堂の方々が登壇し、復興支援活動のあり方、日本のこれからの課題や解決のためのアイデアなどについて語っていただきました。東日本大震災の経験をどう生かしていくべきか。貴重なヒントが示唆されました。<sup>2)</sup>

**第4回「メディア for GOOD」**  
7月27日(水) 18:30～20:30

パネリスト：**福士 睦氏**  
日本テレビ放送網株式会社  
編成局編成部長

**菊野 浩樹氏**  
株式会社 TBSテレビ 編成局編成部長

**ミッツ・マングローブ氏**  
タレント、歌手、女装家

進行：**本田 亮氏**  
クリエイティブディレクター、  
環境漫画家、エッセイスト

協力：株式会社 電通



第4回「メディア for GOOD」では、日本テレビ編成局編成部長 福士睦氏、TBSテレビ編成局編成部長 菊野浩樹氏、タレントのミッツ・マングローブ氏をお招きし、テレビメディアのfor GOOD事例を通じて、その役割と可能性について意見を伺いました。メディアについて改めて考える機会となりました。

- 1) 本誌p.25に展示作品解説を載せています。
- 2) 本誌p.31に「東北 for GOOD」トークイベントの様子をレポート形式で採録しています。



**TCC 広告賞展 2016**  
(平成28年8月4日～9月24日)

コピーの神様に、愛されたコピーとは？

東京コピーライターズクラブが主催するコピーで選ぶ広告賞、TCC賞の2016年度受賞作品展が盛況のうちに終了しました。

「誰にでも楽しめるTCC賞」をテーマとした今年、樹木希林さん扮する



上：エントランスでは、樹木希林さん扮するコピーの神様がお出迎え  
左：コピーライターの愛読書を展示する「コピーライターの本棚」。21名の推薦本がメッセージとともに並んだ

“コピーの神様”が会場に舞い降りました。生活者にしっかりメッセージを届け、記憶にとどめてもらうために、大切な役割を担っているのがコピーです。言葉の力が吹き込まれた優れた

コピーは、見る人の心を捉えて離しません。本展ではまるで神様から愛されたかのような名コピーが並びました。会期中は、受賞作品の展示に加え、コピーライターの愛読書を紹介する

「コピーライターの本棚」や、コピーライターと話せる「コピーライター行動展示」、本年度のTCC賞受賞者によるトークイベントなど盛りだくさんの連動企画を開催しました。



「コピーライター行動展示」では、今年の最高新人賞・新人賞を受賞したコピーライター24名が会場に登場。来館者の質問に答えるなどやりとりが交わされた

名作コピーとともに、コピーの神様のお告げが書かれた「コピーの神様おみくじ」を設置



## 広告図書館から

### ミニ企画「あのキャッチコピーの広告制作レシビ展」開催中です

TCC広告賞展2016の開催に合わせ、広告図書館内ではキャッチコピーに注目したミニ企画展示を開催しています。

誰もが一度は見聞きしたことのある“あの”キャッチコピーと広告が生まれた背景を、コピーライターやアートディレクターなどの制作者が語った本から読み解いていく内容です。ご紹介するコピーは、1970年サッポロビール「男は黙ってサッポロビール」、

1977年小学館「ピッカピカの一年生」、1993年東海旅客鉄道「そうだ 京都、行こう。」、2006年東京ガス「ガス・パッ・チョ!」の4本。どれも商品ブランドのイメージを的確に表現しているのはもちろんのこと、ことばのインパクト、テンポ、口ずさみやすさから現在でも秀作コピーといわれています。その誕生にまつわる苦労話や意外なこぼれ話をぜひお楽しみください。

なお毎年開催していた「コピーラ



イターの本棚」は、今回TCC広告賞展2016展示会場内で開催しています。こちらも併せてお楽しみください。

## 「アド・ミュージアム東京」開館スケジュールのお知らせ

- ・9月25日(日)～10月31日(月)、11月27日(日)～30日(水)は展示入れ替えのため、全館休館いたします。
- ・12月29日(木)～2017年1月4日(水)は年末年始のため、全館休館いたします。
- ・12月の日曜日・祝日は開館いたします。

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1														
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
30	31																			

※広告図書館は日曜・月曜・祝日・振替休日休館。 ■は休館日